



秋田民医連退職者の会記念講演会に58名参加！！

「いのちの平等めざして」～今民医連がおもしろい～

秋田民医連退職者の会総会と記念講演会が6月10日(土)イヤタカにて開催され、講演会については秋田民医連と中通病院労働組合が共催で取組みました。全体で58名が参加、うち県連・組合から13名が参加しました。



司会は組合の高村執行委員長が務め、始めに主催者挨拶を県連の清水事務局長が行いました。記念講演は講師に、全日本民医連理事・米の山病院事務長、入江敬一さんをお願いし「いのちの平等をめざして～今民医連がおもしろい～」と題してご講演いただきました。内容は、パワーポイントで動画も流しながら、米の山病院の民医連病院として24時間365日地域からも支えられながら職員も不安の中コロナ感染患者を受け入れた状況や、コロナ禍で起こった医療の変化として「助けて」と言えない社会になっていると事例を交えながらお話されました。また、秋田民医連退職者の会が作成した記念誌より中通病院の職員と患者さんの様子の紹介もありました。民医連は、労働者のための病院として発展しどんな人でも分け隔てなく診療するというのは、今にも繋がっています。元全日本民医連事務局長八田英之さんの言葉で「民主的な管理運営は、事業所の運営だけでなく、共同組織や地域にも目を向け運営していくこと」が必要であると述べています。職員にも地域にも目を向け民医連として無差別・平等の医療と福祉の実現に向けた取り組みを行っていく事が今後も必要です。と講演を終えました。



民医連は今年6月7日で70周年を迎えました。民医連の源流である無産者診療所などの歴史を学ぶ機会となり、元気になる講演会となりました。

<参加者の感想>

民医連の歴史や取り組みなど非常に興味深い講演でした。特に、米の山病院の共同組織の取り組みは地域との関りを大事にし、地域に支えられている病院だと感じました。退職者の会の参加者が多かったのですが、できればもっと現役の職員に参加してほしい内容だったと思います。(OB)

コロナ禍に就職した自分ですが、講演会に参加したことで他県、他病院ではどのような危機に陥って、どのように対応したのかがわかった。(20代)

他の病院のコロナ禍の声を聞く事ができて貴重な経験ができたと思う。先輩たちの取り組みは制度など難しい話もあったが少しは理解できたと思う。(30代)

※講演会の資料が欲しい方は組合までご連絡下さい！！(内線813番)
また組合HPに、資料(PDF、パワーポイント)掲載しています。

夏期一時金は1.7ヶ月、本日支給日です！！

※今回の一時金から「組合費を徴収しない事」を執行委員会で決定しています。

本日6月15日(木)は、夏期一時金の支給日です。正職員は1.7ヶ月(昨年同率)です。冬のボーナス(年末一時金)については、9月下旬開催予定の定期大会にて23秋闘要求(年末一時金要求等)を決定し、11月上旬頃から理事会と交渉を行う予定となっています。

<支給内容>

- ・夏期一時金、正職員1.7ヶ月支給です。(4月1日採用新人は、0.85ヶ月)
支給額：(基本給+扶養手当+勤続手当+管理職超勤打切り手当の2分の1)×1.7ヶ月
- ・嘱託職員は、0.85ヶ月(一部除く)
- ・臨時パート職員は、職種、勤務時間により一律1万円～7万円

全労連共済「個人賠償責任保険」新規加入者募集中→締切6月26日です。

加入申込み期間：2023年5月1日～2023年6月26日

補償期間：2023年10月1日～2024年4月1日

保険料：1,420円(6ヶ月間)

被保険者範囲：組合員本人・配偶者・同居家族・別居未婚の子

★「秋田県自転車条例」が制定されました。2022年4月1日から「自転車損害賠償責任保険等への加入が義務となりました」



映画チケット扱っています！

外国人労働者たちの実話をもとに描く圧巻リアリズム。

近年、外国人技能実習生にまつわる劣悪な労働環境などが社会問題として注目されるなか、本作は藤元監督が実際に技能実習生から受け取ったSOSメールをきっかけにして着想された。

映画と交流のつどい

と き 2023年6月17日(土) (1回上映 14:30～16:00)

・上映後、ベトナム留学生との交流あります。

ところ **にぎわい交流館au** 3F多目的ホール (☎018-853-1133)

料金 前売一般(18歳以上) 1,000円(当日1200円)
・ベトナム留学生は無料

主催/日本ベトナム友好協会秋田支部

連絡先/秋田県映画センター(☎018-862-9978)

奈良(090-9630-6599)、小玉(090-3642-7557)

※映画チケット
組合員・家族
800円